



Hitosugi Collection:

The Allure of Indonesian Textiles

一杉コレクション展
—魅惑のインドネシア染織—



2025
12/17 水
▼
2026
3/15 日

会期中一部作品の展示替えがあります

開館時間 ♦♦♦ 午前9時30分～午後5時30分 (入館は閉館の30分前まで)

休館日 ♦♦♦♦ 月曜日、年末年始 (12月28日～1月4日)

※ただし1月12日(月・祝)、2月23日(月・祝)は開館し、翌火曜は休館。

会 場 ♦♦♦♦ 福岡市美術館 1階 古美術企画展示室

FaN
Fukuoka Art Next



福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM

Hitosugi Collection: The Allure of Indonesian Textiles

一杉コレクション展
—魅惑のインドネシア染織—

東南アジア諸国は工芸品

の宝庫ですが、特にインドネシアの

工芸といえば、その筆頭にあがるのが染織品です。

1万7千以上ある島々によって形成されるインドネシアは、

それぞれの島で特色ある染織品を生み出してきました。一杉秀樹氏は

仕事で香港に駐在された際に、アジアの様々な文物が集まる同地でインドネシアの布の美しさに魅せられました。それ以来、現地におもむいて収集され、また日本に戻られてからもさまざまな機会に収集を続けられました。

本展は2024年に一杉氏から寄贈していただいた、インドネシアの染織品85点を紹介するものです。一杉氏が特に興味をもたれたジャワ島のバティックやスマトラ島の緯経を中心に、これまで当館では所蔵がなかった、バリ島の緯経(グリーンシン)や、ジャワ島以東の島々の経や絞染などをお披露目いたします。一杉氏が美にこだわって収集された、繊細巧緻なインドネシアの手わざの世界を堪能ください。

つきなみ講座

「インドネシアの染織
一杉コレクションの名品を語る(仮)」

1月17日(土) 15:00~16:00(開場14:30)

講師 岩永悦子(福岡市美術館 館長)

会場 1階 レクチャールーム

定員 54名

※聴講無料、事前申込不要、先着順

表面:(上段左)《菱形幾何学文様経緯緯糸紋織女性用儀礼頭巾》(部分)スマトラ島・西スマトラ州、(上段右)《人物幾何学文様経緯緯糸紋織肩掛(グリーンシン)》(部分)バリ島、中段:《花鳥唐草文様更紗腰衣》(部分)ジャワ島・北岸地域、《ロックチャン文様更紗肩掛》(部分)ジャワ島・北岸地域
裏面:(上段左から)《生命の木文様更紗腰布》(部分)ジャワ島・北岸地域、《幾何学文様絞染儀礼布》(部分)スラウェシ島、《鋸歯文様緯経緯糸紋織腰布》(部分)スマトラ島・南スマトラ州、《スメン文様更紗腰布》(部分)ジャワ島・中部地域、《幾何学文様経緯腰衣》(部分)フローレス島

【主催】福岡市美術館

【観覧料】一般 200 円(150 円)、高大生 150 円(100 円)、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金。 ※以下の証明書等ご提示にて観覧無料。▶身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳、障害者手帳アプリ「ミライロID」(以上は介護者1名を含む) / 特定医療費(指定難病)受給者証 / 特定疾患医療受給者証 / 先天性血液凝固因子障害等医療受給者証 / 小児慢性特定疾病医療受給者証 / 福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方は住所と生年月日がわかるもの(健康保険証、運転免許証等) / wa+club(わたすクラブ)会員証

交通案内

地下鉄 [空港線]大濠公園駅(福岡市美術館口)下車、徒歩10分
[七隈線]六本松駅下車、徒歩10分

西鉄バス 博多駅から[系統番号13・140]で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分
[系統番号6・12・113・200 ~ 204・208]で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分
[系統番号6-1]で「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分

車 福岡都市高速「西公園ランプ」から5分 / 福岡市美術館専用駐車場(有料:1時間200円)利用時間:午前9時~午後9時(開館日のみ)
※週末、祝日等は大変混み合います。公共の交通機関をご利用ください。

 **福岡市美術館**
FUKUOKA ART MUSEUM

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
Tel.092-714-6051 Fax.092-714-6071

